

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	◎	コンビニ（店舗管理）	・ステイホームこそ善、外出は悪というような同調圧力は弱まっていくはずである。
	◎	観光型旅館（スタッフ）	・車による移動が可能なエリアからの予約が好調である。Go To TravelキャンペーンのスタートでWebサイトの販売が急速に改善している。1月までは前年を超える予約を保有しているが、2月以降はキャンペーンが延長されるかどうかで状況が大きく変化すると考える。
	○	商店街（代表者）	・Go To商店街キャンペーン事業に応募しており、採択されれば相応の人出を期待している。冬になると北陸は人出が少なくなるので、効果大である。
	○	商店街（代表者）	・クリスマス付近の連休がなくなり盛り上がり欠ける年末商戦である。新しい日常生活でどのように展開するか予想しにくい、Go To Travelキャンペーンや新たな美術館の開館で周辺環境は良くなっている、景気向上に期待したい。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・これから年末に向かい繁忙期に入る。カニなどの高額商品も既に人気となっている。何とか今までのマイナスを少しでも取り戻したい。
	○	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・景気の底は脱し、客の購買量なども少しずつだが良くなっているため、期待が持てる。
	○	コンビニ（営業）	・現状は底から少しずつ回復しているが、新型コロナウイルスの影響により、生活様式は以前とは変化してくると考える。
	○	衣料品専門店（店舗運営）	・店頭での客の様子を見ていると、購入意欲が徐々に戻りつつあると考える。
	○	家電量販店（店長）	・Go To Travelキャンペーンの地域共通クーポンの利用が増えてきており、消費が増えてきている。
	○	自動車備品販売店（役員）	・小売としては大きな影響を感じなかったが、集客が戻りつつあり、例年並みの販売数量に近くなってきている。徐々に回復の兆しが見える。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・Go To Eatキャンペーンが始まるので集客が増えると思われているが、1世帯1冊限定のプレミアム付食事券の県内施策では大きな効果は期待できない。
	○	一般レストラン（統括）	・12～1月は年末年始とGo Toキャンペーンで、現状ではまだ外出を控えている人々も、特に年末は近場の外出が増えると思われている。また、米国大統領選で新大統領が決まれば、期待値も含めて株価など証券市場が現状より元気になるとみている。インフルエンザの流行や新型コロナウイルス感染の第3波など不安材料もあるが、それ以上にプラス要素が大きいと考える。
	○	観光型旅館（経営者）	・1月まではGo To Travelキャンペーンのお陰で、例年並みの売上を確保できる見込みである。ただし、急激に客が増加し、働き手の人手不足が鮮明になってきている。客室が空いていても、人手の問題で受入れを断らなければならない状況である。
	○	旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルス禍の警戒感が強く、幅広く旅行する環境にないが、徐々に自粛緩和のムードが出始めることで需要が拡大していく。
	○	タクシー運転手	・これからの観光客に期待できる。また、年末に掛けて何かと外出の機会も増えることから期待ができる。
	○	通信会社（営業担当）	・年末商戦及び新商品の発売により、販売数は増えると思われている。また、総務省が提案している料金の割引が始まれば、来客数自体が増えると思われているため、そこから販売につながると考える。
○	通信会社（役員）	・年末の商戦期を迎えるに当たり、新型コロナウイルス感染拡大の影響がなければ、放送、通信共に契約数が期待できる。	
○	テーマパーク（役員）	・Go To Travelキャンペーンが1月まで実施され、現在は期間延長という報道もあり、客の旅行需要の動きは段階的に増えていくのではないかとみている。ただ、冬場の新型コロナウイルスの感染状況に対する不透明感があるとともに、団体やグループ客が戻るかどうかで左右される部分がある。	

○	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの終息を期待し、客の動きに変化がみられると考える。
○	住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた感覚があり、年末及び年度末に向け、購買意欲の向上に期待が持てる気配がある。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響次第で良くも悪くも変化する。飲食関係への若者の動きは若干増えているようだが、団体客の増加にはまだまだつながらない。
□	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・オフィスの新規需要案件が少なく、目標値達成には程遠い状況である。
□	百貨店（販売担当）	・Go To Travelキャンペーンでの県民の旅行需要を期待したが、県民性なのか特に周囲への新型コロナウイルスの影響をかなり気にしており、現時点では活発な旅行は控える傾向である。また、都会からの旅行者の動きはまだ少ない。一方、気温低下とともに前年の暖冬で買い控えた商品の購入が増加することにやや期待でき、持ち直す可能性がある。しかし、外出が少ない今年の状況を考慮すると大きな期待は持てない。
□	スーパー（店長）	・現状で来客数の動きに大きな変化がない以上、年末も期待はできない。ただ、内食化傾向や巣籠り需要に対応し、家で食べるごちそうの提案に期待をもちたい。
□	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスが終息に近づかない限り変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・良くなる兆しは見えない。
□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、前年比で10～15%減少という、最悪期からは回復した今の状態が続くとみている。来客数や販売量から新型コロナウイルス発生前に戻ることはあり得ないと感じており、今はこの状況でいかに経費を削減し、うまく立ち回るかを考えている。前年比90%程度で頭打ちとなって1か月以上がたつ。恐らく現在の状況が続くと考える。
□	衣料品専門店（経営者）	・映画や様々なキャンペーンで人出が増えていると感じるが、衣料品の売上には直結していない。
□	家電量販店（店長）	・暖房商品のメインがエアコンになりつつあるため、売上の横ばいをキープできそうである。
□	乗用車販売店（経営者）	・Go Toキャンペーン等で人の動きが多いとの報道があるが、地方都市では大きく変化したという印象は余り受けない。しばらくは人の動きが変わらず、景気もまだ変化しないとみている。
□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況により、先行きに対する不透明感是否めない。
□	住関連専門店（役員）	・やはり新型コロナウイルス感染症の影響は大きいと考える。経験したことの無い冬季になり、これまで以上に外出自粛が意識されると考えるため、この先の不透明さは以前と変わらない。
□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・とにかくこれ以上悪くならないことを期待し、変わらないと回答する。
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・直近では県内で新型コロナウイルス新規感染者の発生がなく、Go Toキャンペーンの施策などもあり、外出自粛の雰囲気緩和されてきたのか、身近なエンターテインメントは復調しているようである。しかし、旅行や遠方への外出などの需要は依然として回復していない。
□	一般レストラン（店長）	・観光客が増えているが、Go Toキャンペーンの効果がいつまで続くか疑問である。夜のアルコールを伴う食事需要がなかなか戻らず、特に10名以上の会合等の会食がない状態が続き、目に見えての回復は望めない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・様々な施策を行っているが、Go To Travelキャンペーンの効果は限定的で、レストランのグループ利用はほとんどなく、宴会部門も昼の会合だけで宴会はほとんどない状態である。3密を避ける新型コロナウイルスの状況下では売上の回復は見込めない。
□	タクシー運転手	・宿泊を伴う県外出張者が少ない。夜の繁華街では、店によっては平日に曜日を決めて休みを取っている状態がまだ続いている。
□	通信会社（職員）	・販促キャンペーンを再開できる風潮となったが、Go Toキャンペーンで外出する機会が多くなったせいも、客足がそれほど伸びてこない。

	□	通信会社（営業担当）	・新機種発売の問合せは多いが、大きく変化するとは考えにくい状況である。
	□	通信会社（店舗統括）	・新機種は出たが、これは一過性のもので、継続して上向きになるとはみていない。
	□	パチンコ店（経理）	・当地では新型コロナウイルス感染者の発生が落ち着いてきており、第3波の兆候が出てこなければ現状で推移すると考えるが、良くなる要素は見当たらない。
	□	競輪場（職員）	・県内の新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせており、来場者数の推移にも大きな上下がなくなってきている。
	▲	百貨店（売場主任）	・各企業の決算発表で赤字が続出しており、ボーナスの支給に影響が出ると見込んでいる。この影響を受ける年末年始商戦の見通しは更に厳しくなると考える。
	▲	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染防止の動きは続くともみられ、年末年始に向けての帰省を中心とした動きは分散、若しくは自粛傾向になるとみる。食品や住関連の必需品に動きはあるが、取引先の商品投入状況も含めてアパレルを中心とした百貨店の回復は見込めないと考える。
	▲	スーパー（店長）	・政府の消費喚起策が打ち出されているが、先行きが見えないなかでの回復は見込めない。
	▲	家電量販店（本部）	・現状では新型コロナウイルスの影響は少なくなってきたが、ボーナス減少などのニュースがあり、今後は厳しくなっていくと考える。
	▲	乗用車販売店（役員）	・海外では新型コロナウイルスの第2～3波の感染が収まらず、政府が予定している外国からのビジネス客などの受入れにより、国内での感染拡大が避けられないと考える。
	▲	スナック（経営者）	・やはり新型コロナウイルスの状況次第である。このままの生活様式が当たり前になり、元の生活に戻らない状態では、当店の存続も時間の問題だと考える。
	▲	その他レジャー施設 [スポーツクラブ]（総支配人）	・寒くなって、新型コロナウイルスに加えてインフルエンザ流行のシーズンになり、来館等を控える人が多くなることを危惧している。
	▲	美容室（経営者）	・現在、消費者はかなりいろいろなプレミアム付振興券を使って支払をしている。消費者の財布の中の振興券が少なくなり、新型コロナウイルスの第3波が懸念される年末の景気が心配である。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・経済活動は新型コロナウイルス発生前にはなかなか戻らないとみているので、良い方向には向かないと考える。現在客層の中心となっているのは、安定した職業の20～30代前半の年齢層である。客層が厚くないのでますます厳しくなりそうである。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの状況と、それを踏まえた社会及び経済の動き次第である。
	×	スーパー（店舗管理）	・賃金が減っている業態が多いため、幾ら地域振興券やキャンペーンを打ち出しても、それすら購入できない世帯も多い。また、追加販売などの影響で事務作業の手間だけが増え、実質の売上につながっていない。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	金属製品製造業（経営者）	・受注が回復しつつある。
	○	繊維工業（経営者）	・10月以降から12月までの先行きの見通しがついている。また、これから1月に期待しているところである。
	○	化学工業（総務担当）	・この先、受注量が増加する予定である。
	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車メーカー向けの需要は引き続き順調に回復しているが、国内の設備投資にかかわる需要は以前より鈍化してきている。一方、輸出に関しては北米、中国の自動車関連向けは堅調に回復してきているが、ASEANを中心とした新興国向けは、回復にはまだ時間が掛かりそうである。
	○	金融業（融資担当）	・前年比ではマイナスが続く可能性が高いが、クリスマスや正月等の季節需要や商戦がある。また、新型コロナウイルスによる、巣籠り需要など新たな商品の需要が生まれる可能性があり、現状よりは経済に活気が出ると考える。
	□	食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルス禍の下で年末年始の需要期を迎えることになるが、それを意識した作戦の結果がどう出るか予測できないのが本音である。

	<input type="checkbox"/>	プラスチック製品製造業 (企画担当)	・日本やアジアの新型コロナウイルス感染状況は落ち着いてきており、経済活動も少しずつ回復基調にある。世界規模では欧米を中心に感染拡大が今後も当分続くとみられ、本格的な回復にはかなりの時間を要すると考える。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業 (総務担当)	・欧米で新型コロナウイルスが再び感染拡大している状況で、設備投資意欲が高くなるとは予測し難い。
	<input type="checkbox"/>	建設業 (経営者)	・年末に向けての工事の発注が例年並みとみられ、現状と同水準で発注されると考える。
	<input type="checkbox"/>	輸送業 (役員)	・新型コロナウイルスによる不透明感がある。
	<input type="checkbox"/>	通信業 (営業)	・業種により異なるが、現状では各種補助金の活用等により、投資意欲は一時的に回復傾向である。しかし、各企業の売上高が上がらない限りは長続きしないと考える。
	<input type="checkbox"/>	新聞販売店 [広告] (従業員)	・10月の折込売上は前年比マイナスではあるが、前月よりやや落ち込み幅は減少した感がある。今月の売上は、県知事選の追い風や通信販売の県内での出稿率が高かったため落ち込み幅が減少したとみている。一時的な要因のため景気は変わらないと考える。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・経済活動は今年前半よりは活発になるだろうが、各種大会や総会など大規模な集会はまだまだ自粛中で、完全な回復には時間が掛かると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/>	精密機械器具製造業 (役員)	・欧州での新型コロナウイルス第2波の影響で、幾つかの国で再び外出禁止令が発令され、国内においてもまだまだ感染者の広がりを心配する状況が続いている。まだまだ良くなっていくという感触が得られない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業 (役員)	・受注動向について、前年に比べて現状は落ち込み傾向であり、先行きにも懸念がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業 (融資担当)	・Go To キャンペーンの対象拡大で一部に回復の兆しもみられるが、観光や飲食業の需要回復までは至っていない。海外では感染拡大している地域も散見され、営業活動や生産活動に制約を受け、経済活動が停滞している。海外売上構成の高い企業の受注、業績回復には時間を要する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業 (経営者)	・この先について一般客やハウスメーカーなど業界の人たちに聞くと、やはり活発な話はない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	税理士 (所長)	・取引先の多くの業種で、今年の冬のボーナス減額、若しくは支給しないというところが広がっている。新型コロナウイルスの関係で見通しができないことから、設備投資や建設工事などの請負関係の事業計画では、現在中止や縮小が相次いでいる。二次産業を中心に需要が減退しているのが非常に心配である。
	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input checked="" type="checkbox"/>		
雇用 関連 (北陸)	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルスの感染動向によって状況が変わるため一概にはいえないが、年末年始商戦を前に事業者、消費者共に一定程度、消費行動の活発化が期待できる。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社 (役員)	・派遣登録者が少ない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社 (社員)	・やはり新型コロナウイルスの影響が非常に大きいと考える。感染のおそれだけでなく、景気回復の対応策であるGo To Travel キャンペーンを活用したいため、就業を一定期間見送ることもあるようである。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社 (編集者)	・新型コロナウイルス禍で落ち込んだ求人が復活してこない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社 [求人広告] (営業)	・現状が長く続くのではないかと各企業の声の圧力的に多い。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスが終息し、企業経営がある程度回復しないと求人募集ができない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所 (職員)	・企業の状況が一部落ち着きかけているものの、離職者の増加に対して新規求人は停滞している。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関 (経営者)	・消費拡大策が徐々に動いているが小規模であり、雇用も元の状態に戻るにはまだ時間を要すると考える。
	<input type="checkbox"/>	学校 [大学] (就職担当)	・状況が変わる要素を見いだせない。
	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input checked="" type="checkbox"/>		